



宮 城 県 の 経 済 情 勢

令 和 7 年 4 月
財 務 省 東 北 財 務 局

調査方法の概略

◆調査期間

前回 7 年 1 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。

◆資料の分析とヒアリング調査

1. 各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査(回答企業 185 社)に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

2. 県内約 175 社へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施。

県内約 175 社からの協力を得て状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。

上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、令和 7 年 3 月 12 日に公表した「法人企業景気予測調査(令和 7 年 1-3 月期)」の結果を活用しており、計数や判断コメントは 3 月に発表した内容と同じである。

東北財務局

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回(7年1月判断)	今回(7年4月判断)	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

(注)7年4月判断は、前回7年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、節約志向の影響がみられることから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスが海外の自動車向けで弱い動きとなっているものの、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械が持ち直していることから、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率がおおむね横ばいとなっており、企業の人手不足感が引き続き高い状況にあるなど、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回(7年1月判断)	今回(7年4月判断)	前回 比較
-----	------------	------------	----------

個人消費	回復に向けたテンポが緩やかになっている	回復に向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

設備投資	6年度は増加見込み	6年度は増加見込み	
企業収益	6年度は増益見込み	6年度は増益見込み	
企業の 景況感	「下降」超幅が縮小	「下降」超幅が拡大	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が景気の持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は節約志向の影響がみられるなか、物価上昇による商品価格の値上げにより前年並みとなっている。コンビニエンスストア販売は節約志向の影響がみられるなか、キャンペーン効果などから、前年を上回っている。ドラッグストア販売は飲食料品等が好調となっており、前年を上回っているものの、このところ伸び悩みがみられる。ホームセンター販売はインテリア等が低調となっているものの、灯油等が好調となっていることから、前年並みとなっている。家電大型専門店販売はスマートフォンや省エネ等の高機能商品が堅調となっており、前年を上回っている。乗用車販売は一部自動車メーカーの生産・出荷停止の反動により、前年を上回っている。旅行は国内旅行が堅調となっているほか、海外旅行にも持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

(主なヒアリング結果)

- 価格が高騰している米や野菜は、日々の生活必需品であることから極端な買い控えはみられないものの、少量品やカット野菜にシフトするなど必要以上の購入はしない傾向がみられる。(スーパー)
- 目新しい企画が奏功し催事は好調となっているものの、その後の館内回遊にはつながっておらず目的買いが定着している。(百貨店)
- 話題性のある商品が好調となっているほか、割安感のあるキャンペーンへの反応が良く、売上げを押し上げている。(コンビニエンスストア)
- 節約志向の継続により、少しでもお得に購入しようとする意識から、セール開催期間にまとめ買いをするなど、購入期間を見極めた堅実的な買い物をしている。(ドラッグストア)
- 年明け以降の寒波の影響により、灯油が好調となったことに加え、降雪量が多く除雪用品も堅調となった。一方、インテリアや収納用品といった耐久消費財は節約志向による買い控えがみられる。(ホームセンター)
- 物価上昇による節約志向は定着しているものの、買い替えの際には高単価であっても性能に着目して購入している様子がみられる。(家電量販店)
- 新車販売台数の伸びは生産・出荷停止の反動増によるものであり、一昨年との比較では販売・受注台数いずれも7割程度の水準にとどまっている。(自動車販売)
- 海外旅行は富裕層中心に動きがみられ、新商品が出たタイミングで早期に予約する人もみられる。(旅行代理店)
- インバウンドは好調で高価格帯の宿の客数が伸びている。国内旅行者に関しても卒業シーズンにより学生の宿泊も多くみられるなど堅調となっている。(宿泊)
- 来店客数の増加に伴いカフェなど軽食系の飲食店が好調。中でも、定期的に新商品を展開している店舗の売れ行きが良い。(専門店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

電子部品・デバイスは海外の自動車向けが弱い動きとなっている。輸送機械は持ち直している。汎用・生産用・業務用機械は海外の半導体メーカーにおける需要を背景に持ち直している。このように、生産活動は、持ち直しつつある。

- 車載部品は、中国市場において日系自動車メーカーを中心に不振が続いているほか、欧州向けも低調となっていることから、受注が減少している。(電子部品・デバイス)
- 生産再開後は、ばん回生産のため、生産能力目一杯のフル稼働が続いている。(輸送機械)
- 海外の半導体メーカーによるAI(人工知能)需要等を背景とした設備投資により、生産量は増加している。(汎用・生産用・業務用機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっており、企業の人手不足感は引き続き高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 物価高騰や賃上げに伴う収益悪化により、求人を控える企業や、常時雇用ではなく繁閑に応じたスポットワークや派遣の活用に移行する企業がみられる。(公的機関)
- 賃上げ等が従業員の定着につながっており、在職者や自己都合離職者の求職者数減少の一因となっている。(公的機関)
- 派遣・請負については、現時点で大幅な見直しの予定はないものの、アメリカの関税政策による影響次第であるため、動向を注視している。(電子部品・デバイス)

- 設備投資 「6年度は増加見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 製造業は、増加見込みとなっている。
 - 非製造業は、増加見込みとなっている。

- 企業収益 「6年度は増益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 製造業は、増益見込みとなっている。
 - 非製造業は、増益見込みとなっている。

- 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大」(全産業)「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 現状(7年1-3月期)は、「下降」超幅が拡大している。先行きは、7年4-6月期に「下降」超幅が拡大し、7年7-9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

- 住宅建設 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲が前年を上回っているものの、貸家が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

- 公共事業 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額は、県、国などで前年度を下回っており、全体でも前年度を下回っている。

- 消費者物価 「前年を上回っている」

- 金融 「貸出金残高は、前年を上回っている」

- 企業倒産 「件数、負債総額とも前年を下回っている」

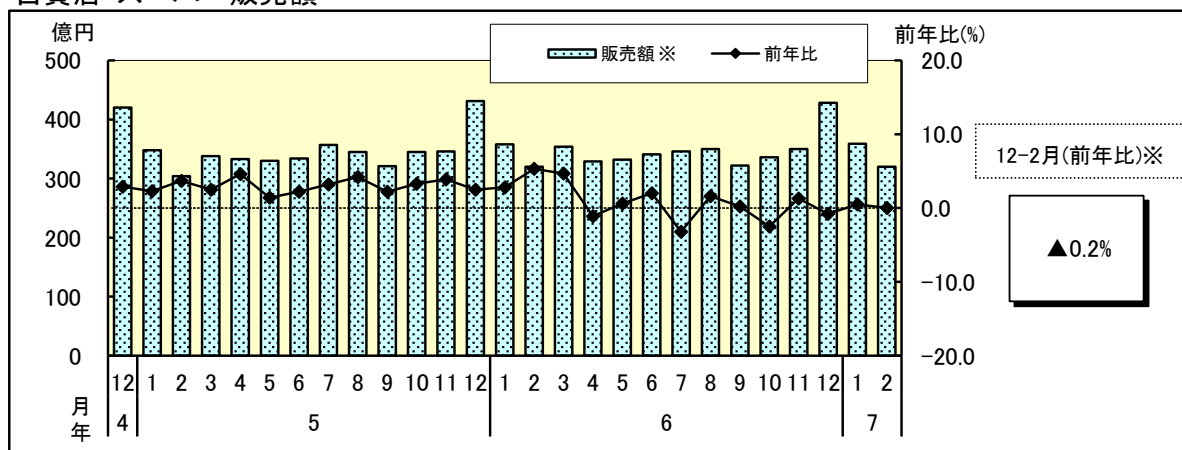
資料編（宮城県）

目 次

1. 個人消費	1
2. 生産活動	4
3. 雇用情勢	5
4. 設備投資	6
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	7
7. 住宅建設	7
8. 公共事業	8
9. 消費者物価	8
10. 金融	9
11. 企業倒産	9

1.個人消費 … 回復に向けたテンポが緩やかになっている

百貨店・スーパー販売額



全店舗ベース

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
6年	0.5	0.8
6. 1-3	3.6	4.2
4-6	0.9	0.5
7-9	▲0.7	▲0.5
10-12	▲1.3	▲0.7
6. 10	▲3.4	▲2.5
11	0.5	1.3
12	▲1.1	▲0.8
7. 1	0.1	0.5
2	▲1.1	0.0

(注)1.7年2月は速報値

2.6年分は年間補正後(※を除く)

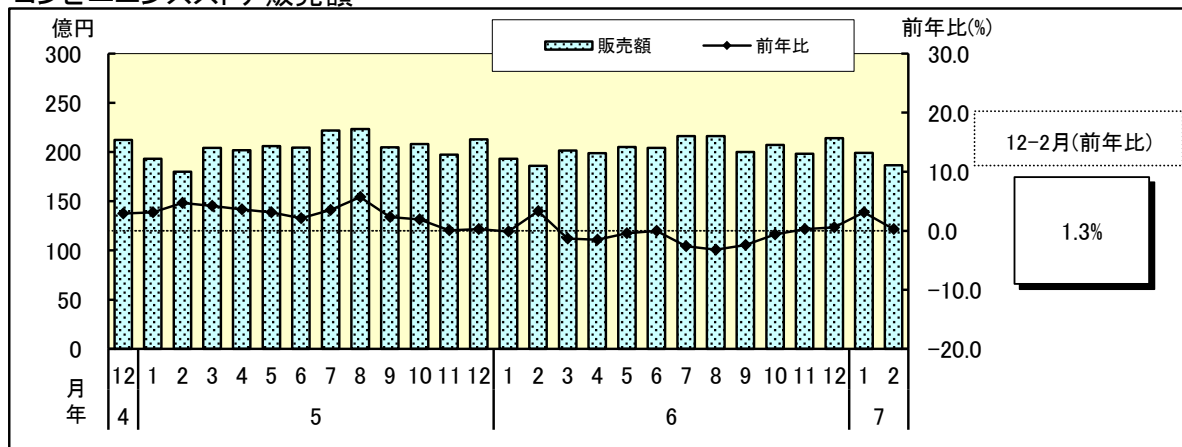
品目別販売額 ※

区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食料品 (前年比%)	その他の商品 (前年比%)
6. 9	▲1.1	▲3.7	0.3	1.6
10	▲13.0	▲6.5	▲1.0	▲4.8
11	▲4.1	23.8	0.4	4.1
12	▲0.7	0.3	▲0.6	▲0.6
7. 1	▲7.0	▲1.9	1.9	▲5.8

(注)7年1月は速報値

〔経済産業省、東北経済産業局〕

コンビニエンスストア販売額



全店舗ベース

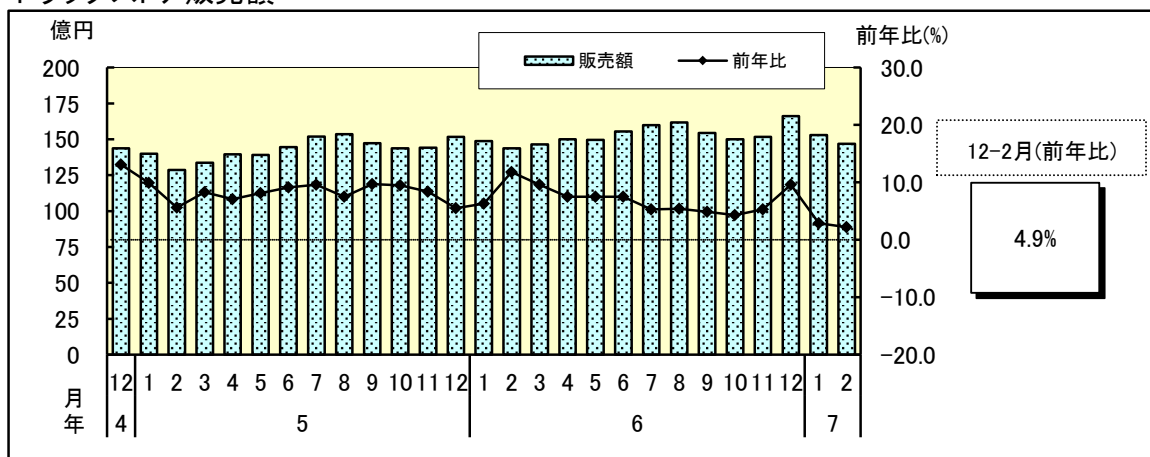
区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
6年	▲0.4	▲0.7
6. 1-3	0.6	0.5
4-6	▲0.4	▲0.6
7-9	▲2.3	▲2.7
10-12	0.5	0.1
6. 10	0.1	▲0.6
11	0.8	0.3
12	0.6	0.6
7. 1	2.6	3.1
2	▲0.1	0.3

(注)1.7年2月は速報値

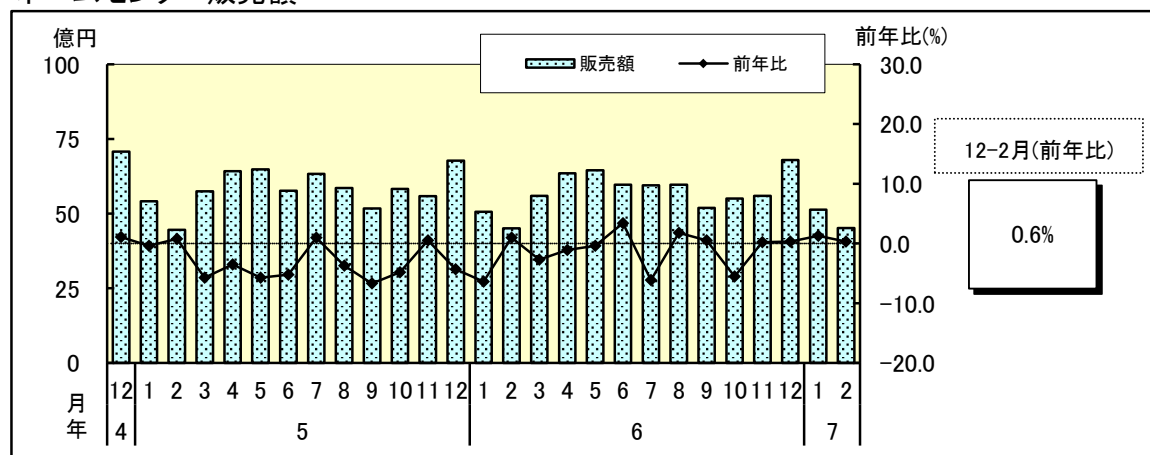
2.6年分は年間補正後

〔経済産業省、東北経済産業局〕

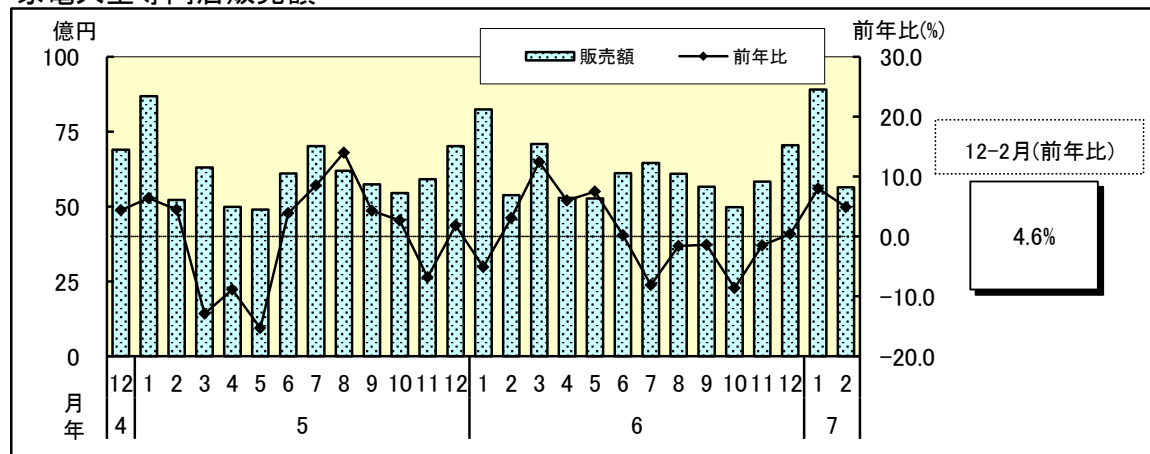
ドラッグストア販売額



ホームセンター販売額



家電大型専門店販売額



全店舗ベース

ドラッグストア

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
6年	7.0	7.0
6. 1-3	8.6	9.2
4-6	7.5	7.5
7-9	5.1	5.2
10-12	7.0	6.4
6. 10	4.8	4.3
11	6.0	5.3
12	9.9	9.6
7. 1	2.8	2.9
2	1.2	2.2

ホームセンター

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
6年	▲ 2.3	▲ 1.3
6. 1-3	▲ 4.4	▲ 2.9
4-6	0.8	0.5
7-9	▲ 2.9	▲ 1.5
10-12	▲ 3.4	▲ 1.6
6. 10	▲ 8.1	▲ 5.5
11	▲ 2.5	0.2
12	▲ 0.1	0.3
7. 1	▲ 1.1	1.3
2	▲ 1.2	0.3

家電大型専門店

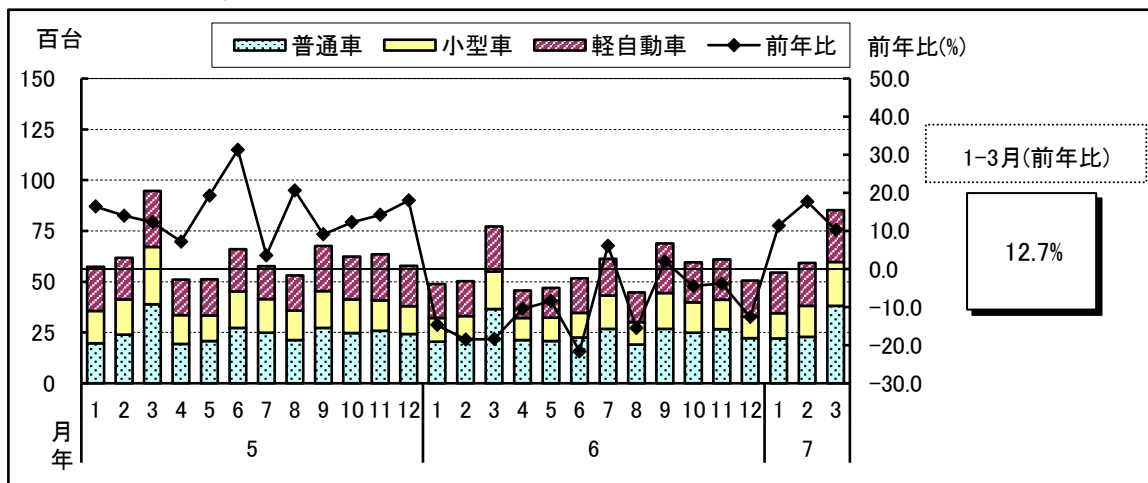
区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
6年	▲ 2.1	▲ 0.1
6. 1-3	▲ 0.3	2.5
4-6	4.2	4.3
7-9	▲ 6.4	▲ 3.9
10-12	▲ 4.7	▲ 2.9
6. 10	▲ 12.1	▲ 8.6
11	▲ 2.5	▲ 1.5
12	▲ 0.5	0.4
7. 1	3.4	8.0
2	▲ 0.3	4.9

(注)1.7年2月は速報値

2.6年分は年間補正後

〔経済産業省、東北経済産業局〕

乗用車新車登録・届出台数



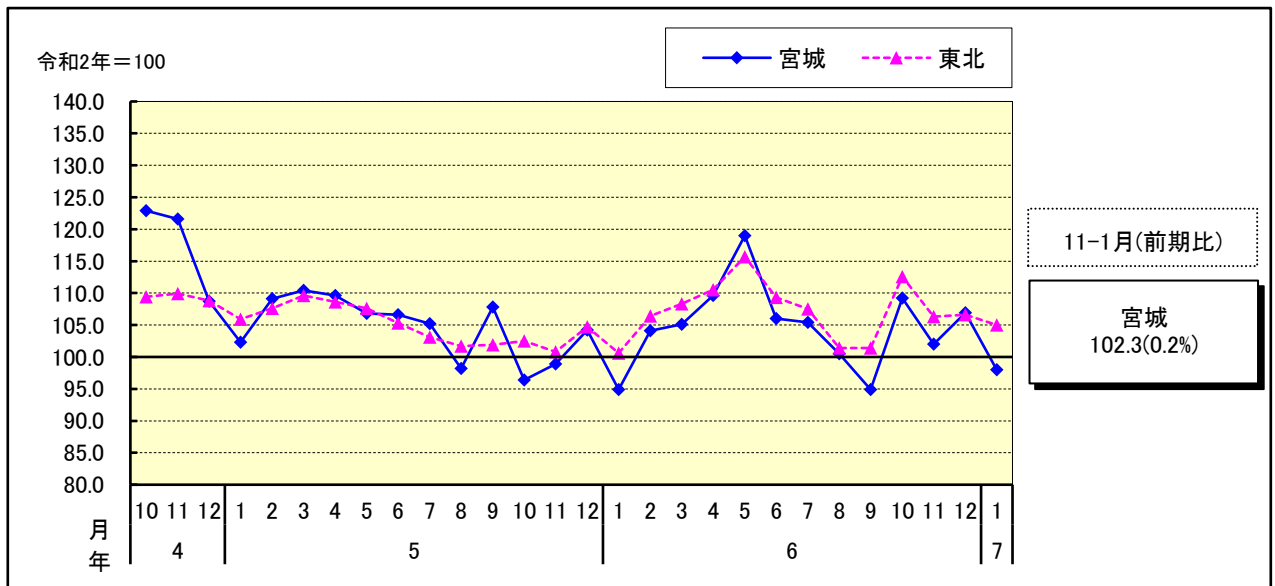
区分	東北		宮城		
	(前年比%)		(前年比%)		
6年	▲ 9.9	▲ 10.4	▲ 3.0	▲ 19.6	▲ 11.8
6. 4-6	▲ 10.0	▲ 14.2	▲ 4.1	▲ 23.2	▲ 19.2
7-9	▲ 0.3	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 7.7	2.5
10-12	▲ 7.2	▲ 6.8	▲ 1.7	▲ 11.5	▲ 9.5
7. 1-3	14.2	12.7	5.3	18.9	18.6
6. 11	▲ 6.5	▲ 3.8	2.5	▲ 2.2	▲ 12.2
12	▲ 11.5	▲ 12.6	▲ 8.9	▲ 22.8	▲ 10.2
7. 1	13.2	11.4	7.3	7.4	19.2
2	20.3	17.7	4.8	35.0	22.6
3	10.9	10.3	4.5	16.2	15.0

(注)7年3月は速報値

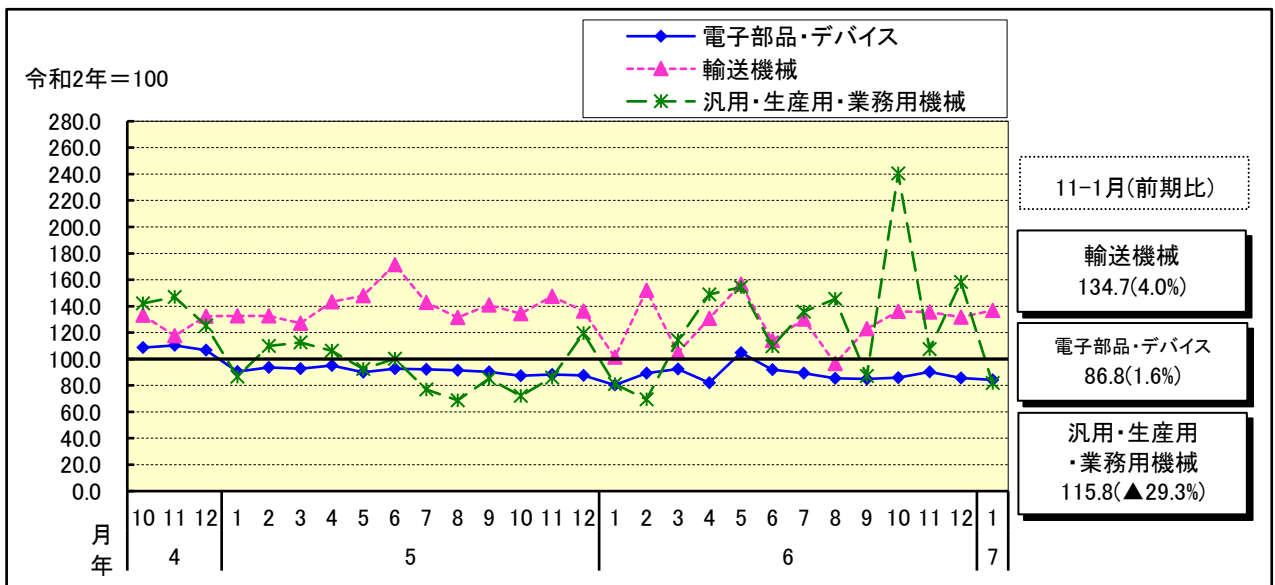
〔日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、東北運輸局〕

2.生産活動 … 持ち直しつつある

鉱工業生産指数(季節調整済)



鉱工業生産指数(業種別・季節調整済)



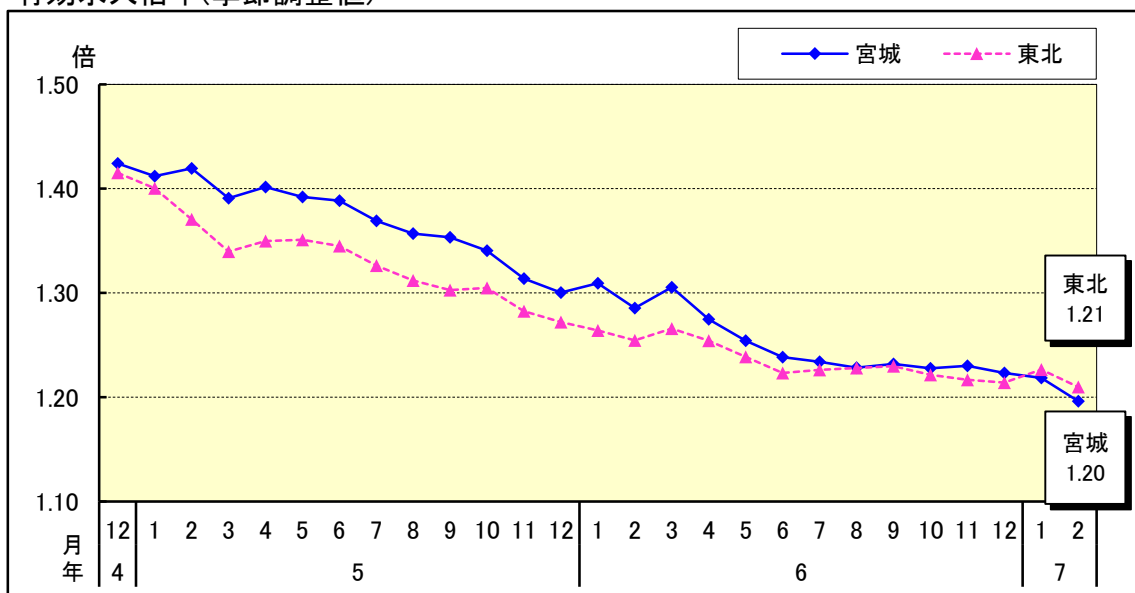
区分	東北 〔令和2年=100〕			宮城 〔令和2年=100〕			電子部品・デバイス(Wt. 1, 461.2)			輸送機械(Wt. 1, 121.8)			汎用・生産用・業務用機械(Wt. 1, 015.8)		
	前月比%		前年比%	前月比%		前年比%	前月比%		前年比%	前月比%		前年比%	前月比%		前年比%
	前月比%	前年比%		前月比%	前年比%		前月比%	前年比%		前月比%	前年比%		前月比%	前年比%	
6年	107.3		2.2	105.0		0.2	88.6		▲2.4	124.5		▲11.2	125.1		28.8
6. 1-3	105.1	2.3	▲3.2	101.4	1.6	▲5.9	87.3	▲0.6		119.4	▲14.3		88.3	▲4.5	
4-6	111.8	6.4	4.3	111.5	10.0	3.4	93.0	6.5		133.8	12.1		137.6	55.8	
7-9	103.4	▲7.5	1.4	100.3	▲10.0	▲3.7	86.5	▲7.0		116.5	▲12.9		122.8	▲10.8	
10-12	108.5	4.9	6.6	106.0	5.7	7.1	87.3	0.9		134.4	15.4		168.7	37.4	
6. 9	101.4	0.0	▲1.5	94.9	▲5.6	▲13.3	84.8	▲0.7	▲6.1	122.9	27.2	▲10.5	87.0	▲40.2	▲10.9
10	112.6	11.0	11.5	109.2	15.1	15.1	85.9	1.3	0.2	136.0	10.7	3.9	240.4	176.3	241.1
11	106.3	▲5.6	5.0	102.0	▲6.6	3.0	90.3	5.1	0.1	135.6	▲0.3	▲12.6	107.4	▲55.3	40.5
12	106.6	0.3	3.4	106.9	4.8	4.2	85.7	▲5.1	▲0.1	131.6	▲2.9	▲1.0	158.4	47.5	35.4
7. 1	105.0	▲1.5	4.4	98.0	▲8.3	3.3	84.3	▲1.6	5.0	136.8	4.0	34.9	81.7	▲48.4	0.8

(注)前年比は原指数、7年1月は速報値

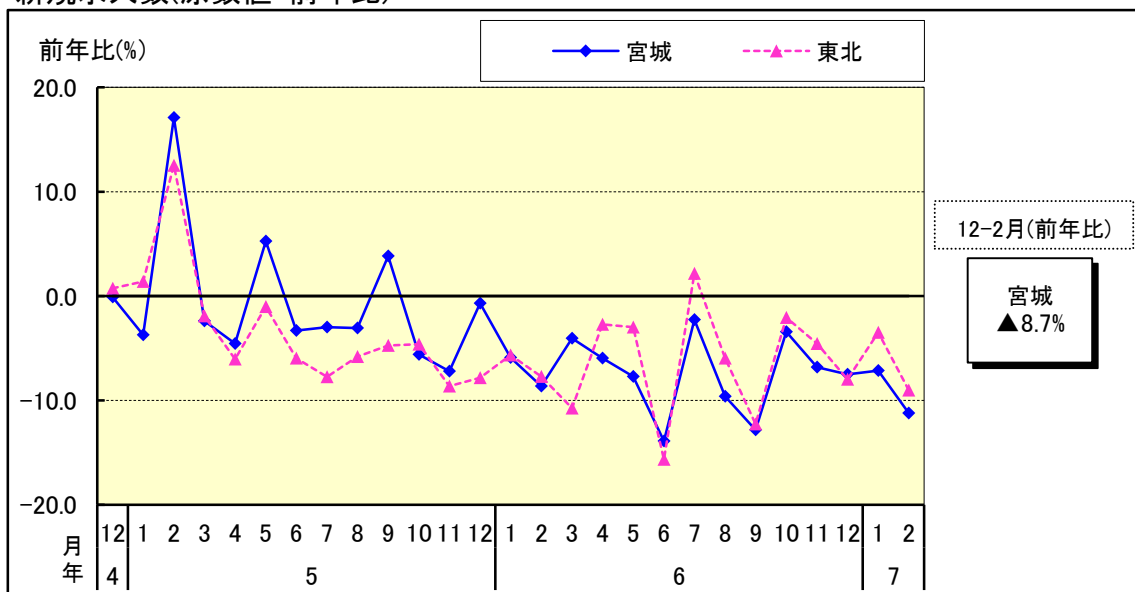
〔東北経済産業局、宮城県〕

3.雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

有効求人倍率(季節調整値)



新規求人数(原数値・前年比)



区分	有効求人倍率(季調値)				新規求人数		新規求職者 (前年比%)	完全失業率	
	東北 (倍)	宮城 (倍)	有効求人 数(人)	有効求職者 数(人)	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)		東北 (%)	宮城 (%)
6年	1.24	1.25	45,836	36,582	▲6.5	▲7.4	▲1.4	2.8	3.2
6. 1-3	1.26	1.30	47,560	36,584	▲8.0	▲6.3	▲0.8	3.0	3.3
4-6	1.24	1.26	46,051	36,673	▲7.3	▲9.3	▲0.1	2.6	3.1
7-9	1.23	1.23	45,146	36,662	▲5.5	▲8.4	▲3.4	3.0	3.3
10-12	1.22	1.23	44,672	36,406	▲4.8	▲5.8	▲1.5	2.7	3.2
6. 10	1.22	1.23	44,642	36,363	▲2.1	▲3.4	0.5		
11	1.22	1.23	44,764	36,390	▲4.5	▲6.8	▲2.2		
12	1.21	1.22	44,611	36,465	▲8.0	▲7.5	▲3.4		
7. 1	1.23	1.22	44,068	36,170	▲3.5	▲7.1	▲5.3		
2	1.21	1.20	43,093	36,022	▲9.0	▲11.2	▲10.3		

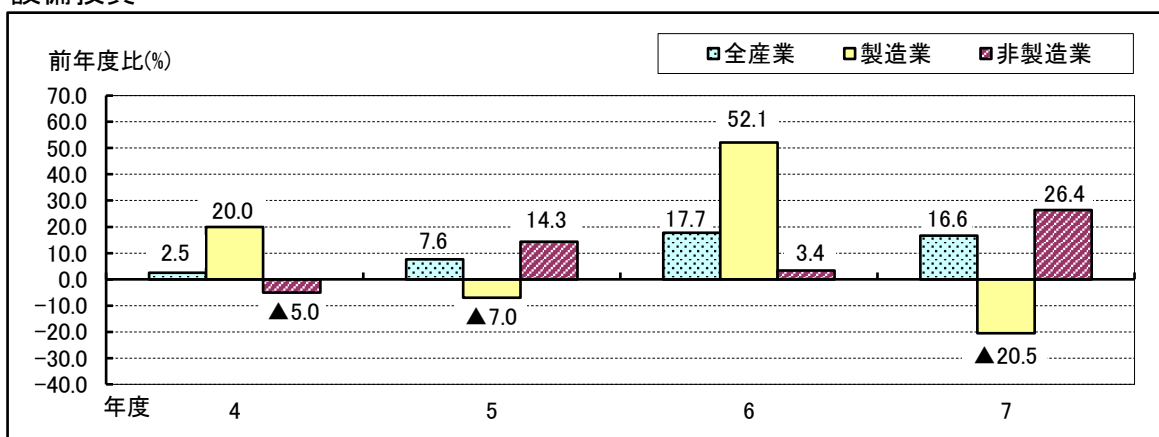
(注)1.新規求人数・新規求職者数・完全失業率は原数値

2.6年12月以前の季節調整値は改定値

〔厚生労働省、総務省〕

4.設備投資 … 6年度は増加見込み

設備投資



(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
6 年 度	(62.4)	52.1	(10.4)	3.4	(25.8)	17.7
7 年 度	▲20.5		26.4		16.6	

(注) 1.ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2.()書きは前回調査結果

3.集計企業数は6年度 142社(うち製造業29社、非製造業113社)

7年度 117社(うち製造業25社、非製造業92社)

4.グラフについて、4-6年度は当該年度の1-3月期調査結果で、7年度は見通し

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年1-3月期調査)」〕

5.企業収益 … 6年度は増益見込み

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
6 年 度	(17.5)	43.4	(▲ 0.1)	6.6	(7.4)	22.2
7 年 度	4.7		▲ 4.9		0.8	

(注) 1.電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2.()書きは前回調査結果

3.集計企業数は6年度 122社(うち製造業28社、非製造業94社)

7年度 96社(うち製造業24社、非製造業72社)

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年1-3月期調査)」〕

6.企業の景況感 … 「下降」超幅が拡大

景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:％ポイント)

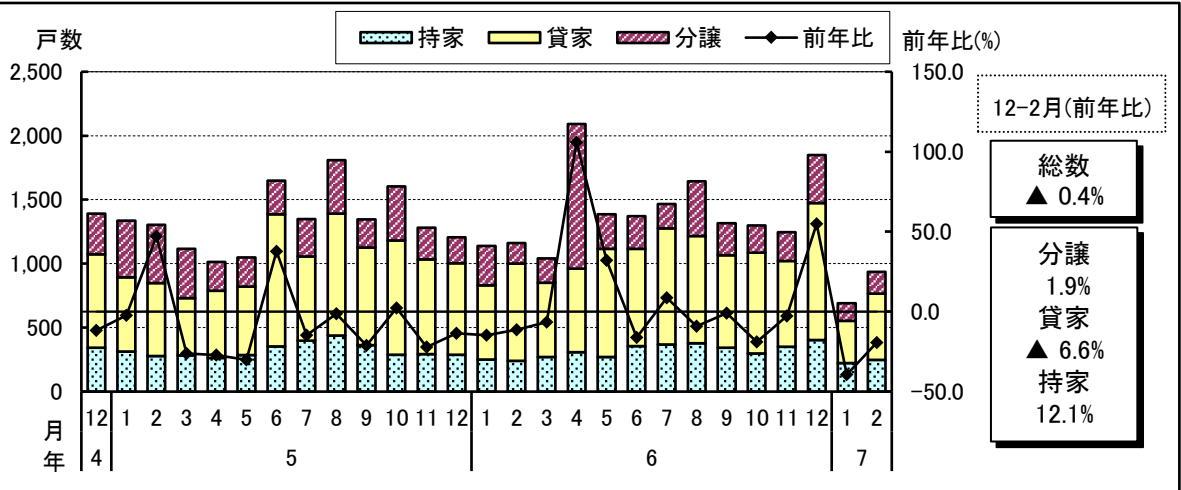
区 分		6年10～12月 (6年10-12月期調査)	7年1～3月 現 状 判 断	7年4～6月 見 通 し	7年7～9月 見 通 し
全 産 業		(▲ 2.7)	(▲ 0.5) ▲ 3.8	(▲ 5.4) ▲ 7.6	4.3
業 種 別	製 造 業	(▲ 2.4)	(7.3) 2.4	(9.8) ▲ 9.5	4.8
	非製造業	(▲ 2.8)	(▲ 2.8) ▲ 5.6	(▲ 9.8) ▲ 7.0	4.2

(注)()書きは前回調査結果

〔東北財務局「法人企業景気予測調査(7年1-3月期調査)」〕

7.住宅建設 … 前年を下回っている

新設住宅着工戸数

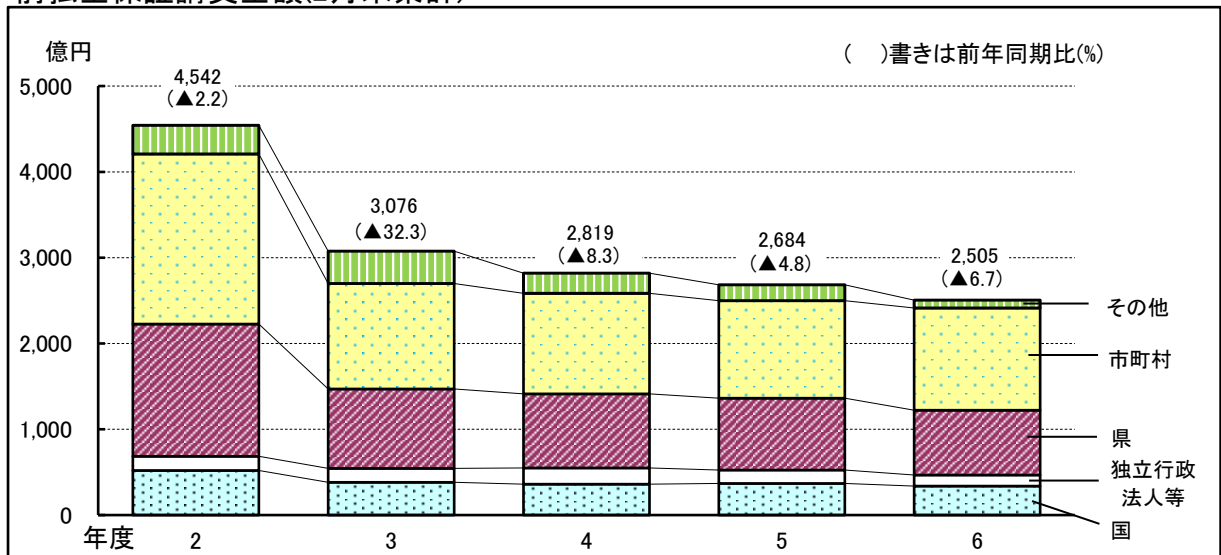


区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)	持家	貸家	分譲
6年	▲ 3.6	6.2	▲ 0.3	9.1	5.2
6. 1-3	▲11.0	▲11.1	▲13.2	20.3	▲48.6
4-6	4.3	30.9	3.8	7.8	131.2
7-9	▲ 9.2	▲ 1.4	▲ 9.2	3.9	▲ 6.9
10-12	0.8	7.8	20.8	7.7	▲ 6.8
6. 10	▲13.8	▲18.9	3.8	▲11.9	▲49.8
11	▲ 6.5	▲ 2.8	19.4	▲ 9.5	▲ 9.3
12	27.3	54.8	39.1	50.0	86.1
7. 1	▲20.3	▲39.4	▲10.4	▲43.3	▲55.2
2	▲ 9.8	▲19.4	2.9	▲31.7	4.9

〔国土交通省〕

8.公共事業 … 前年度を下回っている

前払金保証請負金額(2月末累計)



(注)その他には地方公社を含む

(単月)

月	7年1月	2月
前年同月比%	▲ 2.4	▲ 10.1

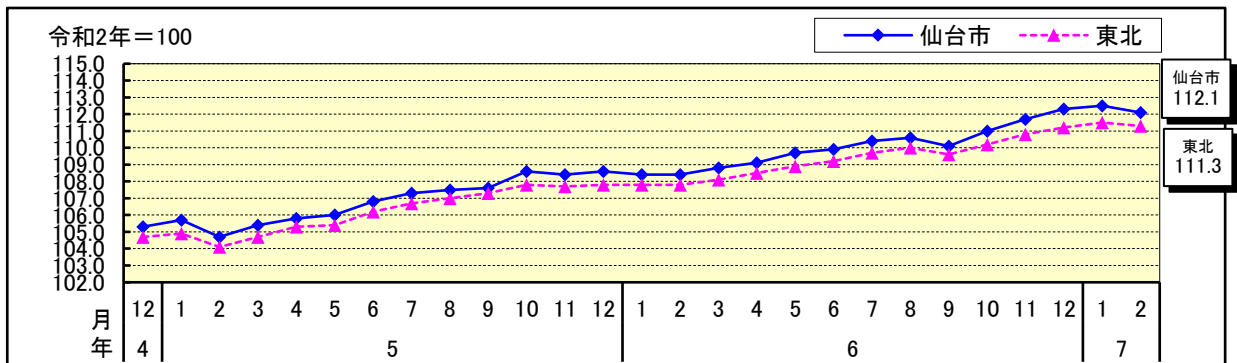
(参考:年度末累計)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度
前年度比%	▲ 2.2	▲ 32.9	▲ 12.4	▲ 3.5

[東日本建設業保証(株)ほか]

9.消費者物価 … 前年を上回っている

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)



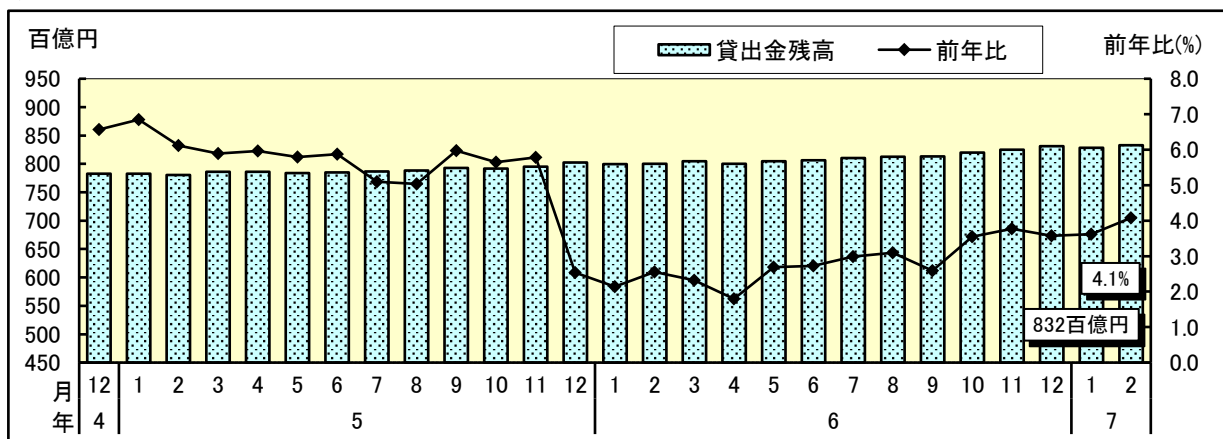
区 分	生鮮食品を除く総合〔令和2年=100〕					
	東 北			仙 台 市		
	指 数	前月比%	前年比%	指 数	前月比%	前年比%
6年	109.3		2.9	110.0		3.0
6. 1-3	107.9	0.1	3.2	108.5	0.0	3.0
4-6	108.9	0.9	3.1	109.6	1.0	3.2
7-9	109.8	0.8	2.6	110.4	0.7	2.7
10-12	110.7	0.8	2.7	111.7	1.2	2.9
6. 10	110.2	0.6	2.3	111.0	0.8	2.2
11	110.8	0.5	2.9	111.7	0.6	3.0
12	111.2	0.4	3.1	112.3	0.6	3.5
7. 1	111.5	0.3	3.4	112.5	0.2	3.8
2	111.3	▲ 0.2	3.3	112.1	▲ 0.3	3.4

(注)四半期分については、端数処理後の月別指数を基に算出

[総務省]

10.金融 … 貸出金残高は、前年を上回っている

貸出金残高



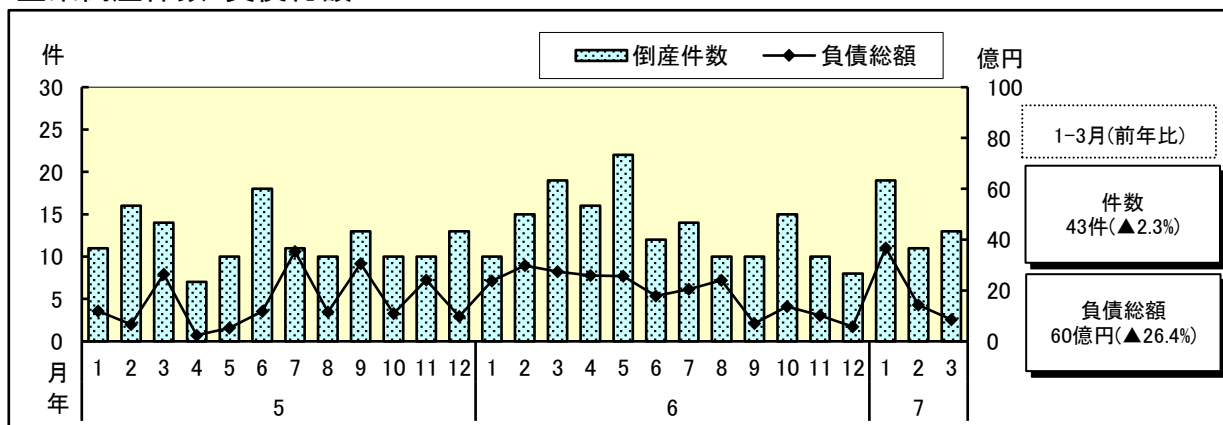
区分	国内銀行	
	東北	宮城
	前年比%	前年比%
6.	5	3.1
	6	2.3
	7	2.4
	8	2.6
	9	2.1
	10	2.7
	11	3.0
	12	2.8
	1	2.9
	2	2.9
		4.1

(注)在店舗ベース(ゆうちょ銀行除く)

〔日本銀行〕

11.企業倒産 … 件数、負債総額とも前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額



区分	件数				負債総額			
	東北		宮城		東北		宮城	
	前年比%	(件)	前年比%	(件)	前年比%	(百万円)	前年比%	(百万円)
6年	30.9	161	12.6	12.6	7.8	23,162	24.0	24.0
6.	4-6	29.7	50	42.9	▲0.1	6,944	256.8	256.8
	7-9	19.5	34	0.0	0.7	5,159	▲33.4	▲33.4
	10-12	20.9	33	0.0	17.1	2,957	▲34.1	▲34.1
7.	1-3	▲0.7	43	▲2.3	▲3.9	5,962	▲26.4	▲26.4
6.	11	38.7	10	0.0	▲19.3	1,013	▲58.1	▲58.1
	12	▲25.5	8	▲38.5	▲47.8	574	▲41.3	▲41.3
7.	1	100.0	19	90.0	66.1	3,675	54.7	54.7
	2	▲34.5	11	▲26.7	▲37.3	1,434	▲51.9	▲51.9
	3	▲20.3	13	▲31.6	▲1.5	853	▲68.9	▲68.9

〔株〕東京商工リサーチ